

南紀熊野ジオパークより
オンライン開催

令和3年度 防災・日本再生シンポジウム

これからの 災害ボランティア 地域の支え合い

紀伊半島大水害10年とコロナ禍の経験から

2021年2月撮影・10年目の那智谷

令和3年 **11月27日** 土

13:30 - 16:40

2021年は、紀伊半島大水害から10年の節目の年です。被災された地域には、地域の支え合いとボランティアで乗り越えてきた活動の実績があり、10年が経過した現在でも、「子供たちを同じつらい目にあわせたくない」と取り組んでいる挑戦があります。

また昨今、コロナ禍の影響で、災害が発生してもすぐにボランティアが駆け付けられません。令和2年7月豪雨での災害ボランティア活動からは、どのような課題と教訓が見えたでしょうか。

本シンポジウムではこれら二つのことから、災害から身を守る知識を改めて学ぶとともに、これからの災害に、地域社会とボランティアがどう備えていくべきかを考えます。

申込み方法

事前のお申込みが必要です。
右のフォームからお申込み下さい。



申込みフォーム

参加費
無料

主催・後援

主催 … 国立大学法人和歌山大学
共催 … 一般社団法人国立大学協会

後援(申請中含む) … 和歌山県、串本町、和歌山県教育委員会、南紀熊野ジオパーク推進協議会、社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会、日本防災士会和歌山県支部



① 開会行事 13:30 ~ 13:40

開会挨拶 和歌山大学長 伊東 千尋
趣旨説明 和歌山大学 災害科学・レジリエンス共創センター 特任准教授 宮定 章

② 第1部 13:40 ~ 14:40

講演「紀伊半島大水害を振り返り、これからの災害に備える」

講演1 「紀伊半島大水害から命を守る教訓」

和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センター 客員教授 後 誠介

講演2 「災害時に期待される力 ~災害ボランティア・地域の支え合い~」

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授 /
特定非営利活動法人日本防災士会 理事長 室崎 益輝氏

③ 第2部 14:50 ~ 16:30

パネルディスカッション「これからの災害ボランティア・地域の支え合い」

パネリスト

「紀伊半島大水害における災害ボランティア」

和歌山県社会福祉協議会 和歌山県災害ボランティアセンター 所長 南出 考氏

「大災害の教訓を活かした取組み ~チーム熊野川住民災害ボランティアセンターの挑戦~」

チームくまのがわ 下阪 殖保氏、木村 康史氏

「コロナ禍の学生災害ボランティア活動を通じて学んだこと」

熊本学園大学 社福災害学生ボランティアグループ代表 山北 翔大氏

「コロナ禍における災害ボランティア活動と地域福祉の課題と教訓」

熊本学園大学 社会福祉学科 教授 高林 秀明氏

コメンテーター

兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授 / 特定非営利活動法人日本防災士会 理事長 室崎 益輝氏

コーディネーター

和歌山大学 災害科学・レジリエンス共創センター 特任准教授 宮定 章

④ 閉会行事 16:35

閉会挨拶 和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センター長 塚田 晃司

問い合わせ先

和歌山大学 災害科学・レジリエンス共創センター

<https://www.wakayama-u.ac.jp/disaster/>

E-mail ceardsympo@ml.wakayama-u.ac.jp

TEL 073-457-7558

